

北九州GX推進コンソーシアム

GX

グリーン・トランスフォーメーション

国以外のGX推進の 支援スキーム 他

2025年05月16日

北九州産業学術推進機構 (FAIS)



福岡県では、県内の中小企業における省エネルギー対策、再生可能エネルギー設備・コージェネレーション・水素ステーション等の導入等を支援するため、「エネルギー対策特別融資制度」を運用。

以下、福岡県のチラシより抜粋

2. 融資対象設備等（県内の事業所に導入する場合に限る）

- (1) 省エネルギー設備（エネルギー効率の高い先端製造設備を含む）
※例えば、省エネ型の照明設備、省エネ型の空調設備、省エネ型の給湯設備等
- (2) 再生可能エネルギー設備（売電目的の発電設備を含む）
※例えば、太陽光発電設備、風力発電設備、バイオマスエネルギー利用設備等
- (3) コージェネレーション、エネルギーマネジメントシステム、蓄電池
- (4) 建築物の省エネ改修
※躯体（外皮）の省エネ改修（設備の省エネ改修を併せて行うものも含む）であって、建築物全体におけるエネルギー消費量が、改修前と比較して概ね10%以上削減されるもの。
- (5) 水素ステーションその他の次世代自動車用燃料供給設備
※水素ステーション：燃料電池自動車等に燃料として水素を供給する設備（定置式、移動式及び水素集中製造設備を含む）
※その他の次世代自動車用燃料供給設備：電気自動車、天然ガス自動車、燃料電池自動車等に電気又は燃料（石油以外の資源を使用するものに限る。）を供給する設備
- (6) その他上記設備等と同等以上の効果を有すると知事が認めるもの

3. 融資の条件

- (1) 融資限度額 1億円以内（再生可能エネルギー設備、水素ステーションその他の次世代自動車用燃料供給設備は2億円以内）
- (2) 融資期間 10年以内（再生可能エネルギー設備、水素ステーションその他の次世代自動車用燃料供給設備は15年以内） ※据置期間は2年以内
- (3) 融資利率 年1.1%（融資期間が10年超の場合は年1.3%）
- (4) 保証料率 0.13～1.56% ※詳細は次ページを御覧ください。
- (5) 担保 必要に応じ徴求
- (6) 保証人 原則として、法人は代表者のみ、個人は不要



[福岡県の関連ウェブサイト](#)

～グリーンアジア国際戦略総合特区～

特区を活用した設備投資で 法人税を軽減できます！

以下の優遇措置も併用可

機械・装置、研究開発用の器具・備品

税額控除 **8%** または 特別償却 **30%**

建物及び附属設備、構築物

税額控除 **4%** または 特別償却 **15%**

[取得期限 令和8年3月31日]

※ 法人税の軽減措置を活用するには、法人指定を受ける必要があります。

- ・ 不動産取得税を **課税免除**
- ・ 福岡県企業立地促進交付金を **5%上乗せ**
- ・ 融資に係る利子の **0.7%分を5年間補填**
- ・ 固定資産税を **課税免除**
※市町村により条件が異なります

※福岡県のホームページに、制度概要を掲載しています。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/greenasia-gaiyou.html>



特区税制の要件

対象事業

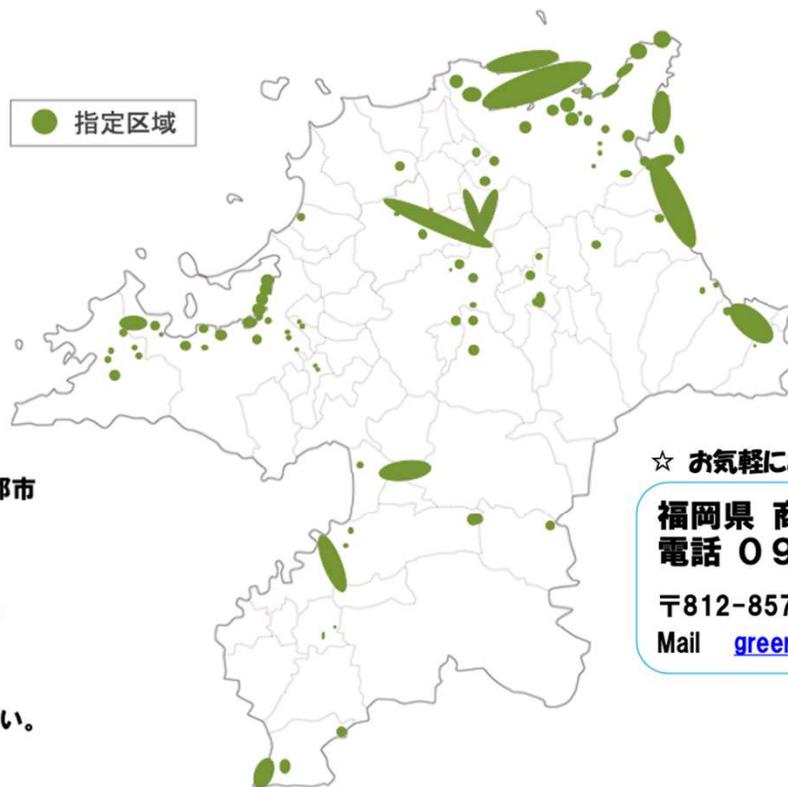
以下の製品等に係る研究開発や生産

- ・環境配慮型自動車（EV、PHV、FCV、HV等）またはその部品
- ・産業用ロボットまたはその部品
- ・太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギー関連製品またはその部品
- ・レアメタルなど希少資源のリサイクル
- ・その他環境性能の高い製品
（半導体、有機EL、次世代燃料電池、水素ステーション等）

※上記対象事業から、**産業競争力基盤強化商品の生産に関する事業**を除く

対象設備

- 機械・装置（2千万円以上）
- 開発研究用の器具・備品（1千万円以上）
- 建物及び付属設備・構築物（1億円以上）



対象区域

北九州市 福岡市 大牟田市
久留米市 直方市 飯塚市 田川市
筑後市 行橋市 豊前市 中間市 小都市
大野城市 宗像市 古賀市 福津市
うきは市 宮若市 嘉麻市 朝倉市
糸島市 志免町 小竹町 筑前町
大刀洗町 広川町 苅田町 みやこ町
上毛町 築上町 の一部の区域

※区域の詳細はお問い合わせください。
区域は追加することもできます。

～グリーンアジア国際戦略総合特区～

(説明続き)

☆ お気軽にお問い合わせください ☆

福岡県 商工部 商工政策課
電話 092-643-3416

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

Mail greenasia@pref.fukuoka.lg.jp FAX 092-643-3417



GXで企業価値を
高める取組みを
支援します



令和7年度 GX推進補助金公募

5/1
START

北九州市の地域企業のGXの取組みの推進と企業価値の向上を図り、北九州市におけるGXに資する新ビジネスの創出及び官民GX投資を促進することを目的として、北九州産業学術推進機構GX推進補助金事業を実施します。

以下のような取組みを支援します

- 自社製品・サービスのカーボンニュートラル化
- 新商品・新サービス開発
- 政府が掲げるGX重点分野への進出

市場調査、事業計画策定、市場開拓、試作品製作 等



補助対象者

(抜粋)

- ・北九州市内に事業所（本社、支店、営業所、工場等）を有する者であること。
- ・北九州GX推進コンソーシアムに入会していること。
- ・自社の温室効果ガスの排出量算定に着手していること。 等

補助対象経費

大項目	経費項目	
	中項目	
I 物品費	土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、消耗品費、保守・改造修理費	
II 労務費	従業員費、補助員費	
III その他経費	旅費、外注費、知的財産権関連経費、諸経費 ※旅費はI～III合計額の20%以内	

補助対象期間

公募開始日(5月1日) ~ 令和8年1月30日

▶ 申請書提出期間：令和7年5月1日（木）～令和7年6月6日（金）

本補助金の詳細や申請書様式は、4月1日より下記のホームページで、ダウンロードできます。
北九州学術研究都市ホームページ <https://www.ksrp.or.jp/collaboration/gx/gx-grant.html>



提出先
お問合せ

< 本補助金提出先・問い合わせ先 > 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号
公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS) TEL:093-695-3006 FAX: 093-695-3018
産学連携センターGX推進部 担当：三戸、磯部 E-mail: fais-gxsuishin@ksrp.or.jp



北九州GX推進コンソーシアム
の独自補助金

GX新商品・サービスの開発支援
(市場調査も可能)

1/2補助＋上限500万円
(予算1000万円)

応募期限：6/6

地域みらい促進資金（特別枠）のご案内

北九州市では、国や県、市等が推進する未来に向けた先進的な取組みに積極的な中小企業者を支援します。



【制度の概要】

融資対象者	中小企業者で、健康経営や脱炭素経営、DX等、未来に向けた先進的な取組み（※）を積極的に行う者であると市長が認めたもの。 ※「未来に向けた先進的な取組み」とは、市が定める裏面記載の事業をいう。
資金使途	運転資金・設備資金
融資限度額	1億円以内
融資期間	運転資金10年以内（据置期間2年以内を含む。） 設備資金15年以内（据置期間2年以内を含む。）
融資利率	1.00%（10年以内） 1.20%（10年超）
信用保証料	0.45～1.51% ※個々の経営状況等に応じ上記の範囲で保証料率が適用されます。 ※有担保による保証などで料率が割引される場合があります。
責任共有制度	原則として対象
担保	必要に応じて徴する
保証人	必要に応じて法人は代表者、個人事業主は不要
返済方法	一括償還又は分割償還
融資申込先	○取扱金融機関14行（福岡県信用保証協会北九州支所の業務区域内の本支店） みずほ銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、北九州銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、十八親和銀行、大分銀行、福岡中央銀行、西京銀行、豊和銀行、福岡ひびき信用金庫、遠賀信用金庫、商工組合中央金庫
認定申請先 問合せ先	北九州市産業経済局中小企業振興課 戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンタービル1F TEL 093-873-1433

GX推進補助金の
交付決定事業者が
交付決定年度に利用可能

※融資申込前に中小企業振興課にて市の認定を受けることが必要です。



ニュース

ニュース

ニュース一覧

令和7年度北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業助成金の公募について

2025.04.14

北九州市環境局環境国際戦略課は、市内中小企業が所有する環境技術・製品の海外展開を支援するため、「北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業助成金」の公募を開始します。

海外でのニーズに合わせた現地での実証試験や、海外展開のビジネスモデル構築のためのFS(事業可能性調査)を支援することで、価格競争力・資金力・ブランド競争力を補い、海外での販路拡大を支援するものです。

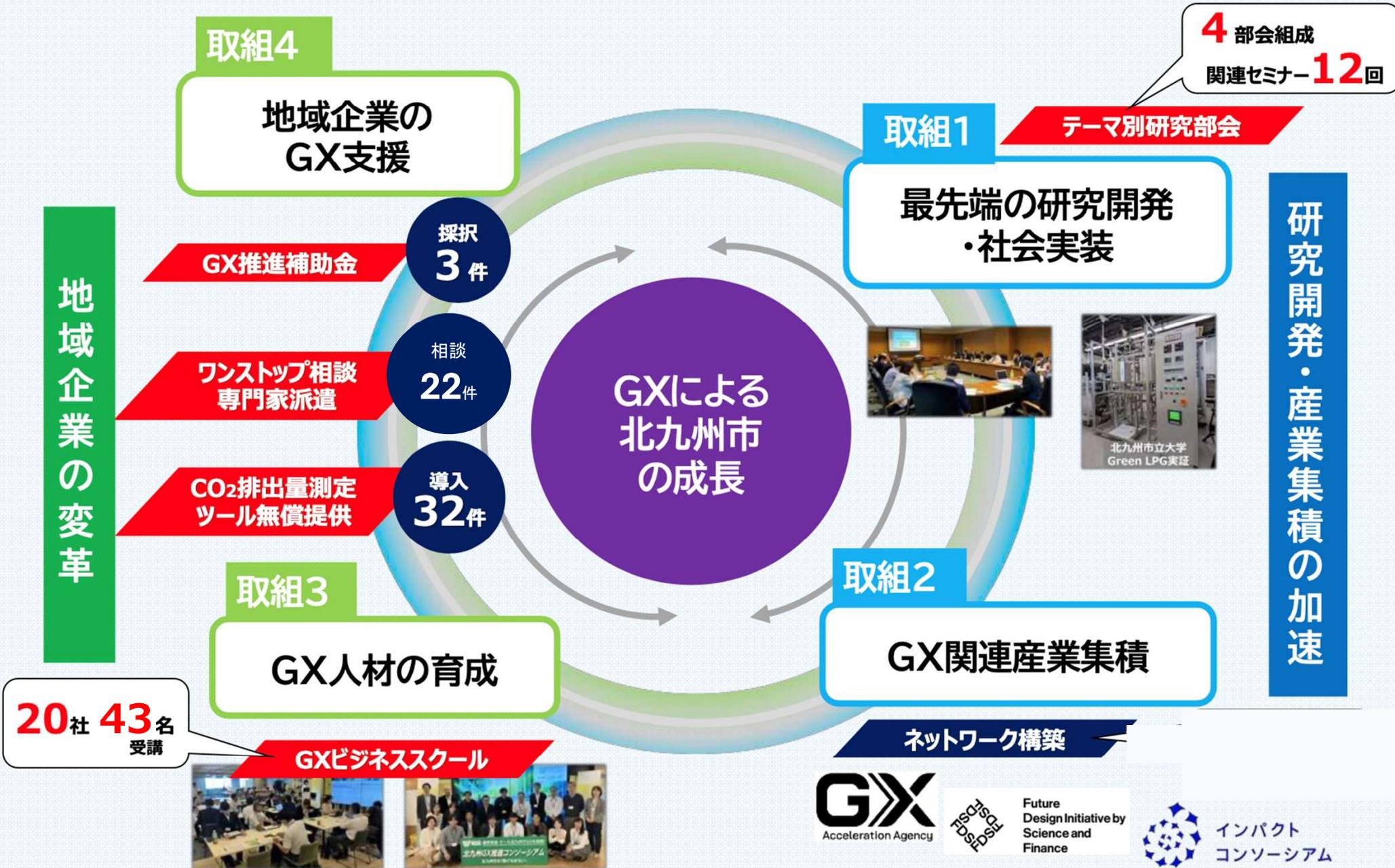
助成期間：採択決定（7月頃）後～2月末まで（1年以内）

助成金額	実証	助成限度額600万円（助成対象経費の1／2以内）
	FS	助成限度額200万円（助成対象経費の1／2以内）

公募受付締切り：5月23日（金）

北九州GX推進コンソーシアムについて

北九州GX推進コンソーシアムの取組実績



GXによる北九州市の成長に向けた取組みを展開

グリーンLPガス実証など、学術研究都市の知見をフル活用

次世代燃料、カーボンリサイクル・マテリアル部会

5/23 キックオフシンポジウム

『カーボンリサイクルの技術革新と産業連携の可能性』 @学研都市

- ・講演
国際大学 橘川氏、西部ガス 江夏氏、
日本LPガス協会 三木田氏
- ・パネルディスカッション



10/1 ワークショップ

@北九州エコタウンセンター

- ・グリーンLPガス実証設備見学
- ・参加者でのグループディスカッション



半導体部会

24/8/27 セミナー @学研都市

『GXを支える半導体』

- ・講演
日本シノプシス 河原井氏、東芝 大幸氏



自動車部会

24/7/4 セミナー @西日本総合展示場

『パーツネット北九州自動車産業セミナー』

24/8/8 北九州自動運転推進ネットワーク講演会

『日本版GPSと高精度衛星測位の
自動運転への応用』 @国際会議場

24/10/28 ワーキンググループ立上げ @学研都市

パーツネット北九州でのGX(省エネ等)

推進の取組み

- ・令和6年度3回開催(24/10、24/12、25/2)
- ・3月以降デンソー九州による専門家派遣開始



取組1 最先端の研究開発・社会実装

未来共創部会

宇宙

24/5/17 セミナー @COMPASS小倉
『次世代の宇宙ビジネス戦略』



学研都市脱炭素化

@学研都市

『北九州学術研究都市の脱炭素化に向けて』

24/5/31第1回会合

- ・各大学とのディスカッション開始
- ・エックス都市研へ調査業務委託

25/1/16-17 ESCO事業事例視察 @大阪

25/2/17第2回会合(ハイブリット開催)

- ・ESCO事業の可能性と今後の取組みの進め方の方向性について協議



建築物(木造建築)

24/12/11 講演会 @学研都市・北九大

『GXから見た近未来の木造建築を考える』

- ・講演 東京大学 腰原氏、近畿大学 藤田氏、大英産業 一ノ瀬氏、北九大 福田氏
- ・パネルディスカッション
- ・高性能木材研究所見学



建築物(ZEB等)

25/2/19 シンポジウム @ホテルクラウンパレス小倉

- ・基調講演 早稲田大学 田辺氏
- ・講演 佐藤総合計画 田村氏、ミクニ竹内氏、北九大 上野氏、市都市戦略局 一瀬氏
- ・パネルディスカッション
モデレータ 北九大 白石氏
登壇者 講演者、市都市整備局 石原氏



カーボンクレジット

『泥炭火災カーボンクレジット事業化研究会』

@学研都市

24/10/23

第1回研究会

25/3/13

第2回研究会



早稲田大学・田辺教授

取組1 最先端の研究開発・社会実装

IHIとの連携協定に基づく熱マネジメント実証の円滑な実施を支援



- 道路占用に関する申請を円滑に進めるため都市整備局管理課や若松区役所まちづくり整備課と調整
- 展示会等での講演の場を提供



施設の製作は地元業者が受注



取組3 GX人材の育成

北九州GXエグゼクティブビジネススクール』を北九州市が開発

- 経営層を対象にGXに向けたマインドセット講座を開催
- 講義形式とワークショップを毎回開催

第1期：令和6年 1月19日～ 3月 1日（全6回） 受講者 15社 27名
第2期：令和6年10月11日～11月15日（全6回） 受講者 10社 16名

カリキュラム

- | |
|------------------------|
| 第1回 GXを捉える |
| 第2回 自社の立ち位置を明確にする |
| 第3回 自社GHG排出量を知る・測る・減らす |
| 第4回 自社の製品・サービスのGX化 |
| 第5回 GXを実現するための手段 |
| 第6回 GX実現のためのアクションプラン |



満足度
100%

IGES
公益財団法人
地球環境戦略研究機関



ビジネススクール
ワークショップ

取組4 地域企業のGX支援

コンソーシアムの支援で企業価値を向上

設立同時
スタート

ワンストップ相談窓口開設

➤ 専門家による伴走支援を実施

- ・ 算定したCO2排出量の妥当性評価
- ・ 工場の生産ライン見直し
- ・ 省エネ、補助金活用支援
- ・ 協業支援企業発掘 など

変革推進
ビジネス創出

GX推進補助金

➤ 令和7年事業費1,000万円

小倉セメント製品
工業株式会社

CO2低減量算定に伴う
基幹システム改修

CONDUCT

建材ロス事業ブランド化

株式会社
西日本ガラスリサイクルセンター

脱炭素事業のPR

北九州GX DAYの開催 ～テーマは「GXと金融」～



- ◆日時 令和6年11月26日(火)9:30~16:00
- ◆場所 リーガロイヤルホテル小倉(東京会場でも配信)

北九州会場に約200名、オンラインで約100名、東京会場に約50名が参加

- ▷ GX推進機構理事 高田英樹氏による基調講演
テーマ「GXとサステナブルファイナンスの推進」



- ▷ サステナブルファイナンスや金融・投資に関する第一線の方々が多数登壇し、活発な議論を展開(総勢29名)



- ▷ 北九州市へのGX投資の呼び込みや、GXシティ実現に向け、有識者と市長・地元関係者がセッションを実施

主な出席者

武内 和久氏
北九州市長
(北九州GX推進コンソーシアム会長)

小野塚 恵美氏
「一社一業」多業による未来創造イノベーション

高田 英樹氏
GX推進機構理事
(旧：金融庁総合政策部 総合政策課長)

吉高 まり氏
正副代表理事
フェロー(サステナビリティ)



G-CITY 戦略

(新・北九州学術研究都市戦略)



この画像はAIツールを使用して作成されています。

2025年02月18日記者発表

3 G-CITY戦略のビジョン



G-CITY

大学の「知」と先端産業が融合し、新たなイノベーションが連続して生まれる街



『グリーンのカ』

『ものづくりのカ』

イノベ
ション

『研究のカ』

GREEN (グリーントランスフォーメーション)

GLOBAL (世界中)

GRID (つながる)

GAKKEN (学研)

開設以来23年間は「創成期」、「成長期」 → これからは「発展期」

GXの種類と課題

脱炭素化の推進（守り+攻め）

守りのGX（基礎編）

（エアコンの省エネ改善など）

守りのGX（応用編）

（電気自動車（EV）による充放電、水素の活用など）

攻めのGX（全て応用編）

（GXに資する新素材開発など）

応用編

北九州GX推進コンソーシアム

<https://ktq-gx.com>



ご清聴ありがとうございました。